

みずほCustomer Desk Report 2022/11/08 号 (As of 2022/11/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.07 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.89	0.9930	145.85	1.1339	0.6439
SYD-NY High	147.55	1.0035	147.00	1.1541	0.6490
SYD-NY Low	146.10	0.9898	145.80	1.1291	0.6401
NY 5:00 PM	146.64	1.0021	146.94	1.1516	0.6482

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,827.00	423.78	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	10,564.52	89.27	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,806.80	36.25	米国2年債	4.7269%	0.0695%
日経平均	27,527.64	327.90	米国5年債	4.3939%	0.0640%
TOPIX	1,934.09	18.69	米国10年債	4.2167%	0.0561%
シカゴ日経先物	27,630.00	120.00	独10年債	2.3225%	0.0350%
ロンドンFT	7,299.99	▲ 34.85	英10年債	3.6310%	0.0835%
DAX	13,533.52	73.67	豪10年債	3.9090%	0.0420%
ハンセン指数	16,595.91	434.77	USDJPY 1M Vol	11.47%	▲0.21%
上海総合	3,077.82	7.02	USDJPY 3M Vol	11.88%	▲0.15%
NY金	1,680.50	3.90	USDJPY 6M Vol	11.72%	▲0.09%
WTI	91.79	▲ 0.82	USDJPY 1M 25RR	▲0.52%	Yen Call Over
CRB指数	286.92	▲ 0.64	EURJPY 3M Vol	12.04%	▲0.19%
ドルインデックス	110.12	▲ 0.76	EURJPY 6M Vol	12.25%	▲0.18%

東京	東京時間のドル円は、146.89レベルでスタートした後、東京時間安値の146.71まで下落。5日に中国の衛星当局者がゼロコロナ政策の堅持を改めて公表したことが材料視されたためかドル買い優勢となり、147円台前半まで上昇。その後は、レンジ推移となり、147.21レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は147.21レベルでオープンし、リスクオンでドル売りが進んだ。一本調子で下落し、146.51レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではリスクオンからドル売りが優勢となり、146.44まで下落したドル円は、146.51レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の結果発表が予定されていない中、朝方は海外市場の流れを引き継ぎ146.10まで下落する。その後は金利が徐々に上昇する展開にドル円も146.73までサポートされる。午後は翌日の中間選挙の結果や、木曜のCPI結果発表を控え、146.50付近での狭いレンジでの推移が続き、146.64レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが強まったことから1.0007まで戻し、0.9988レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.0006まで戻す。午後に入ると更にドル売りが強まったことから、短期的なストップを巻き込み1.0035まで上昇する。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.0021レベルでクローズした。

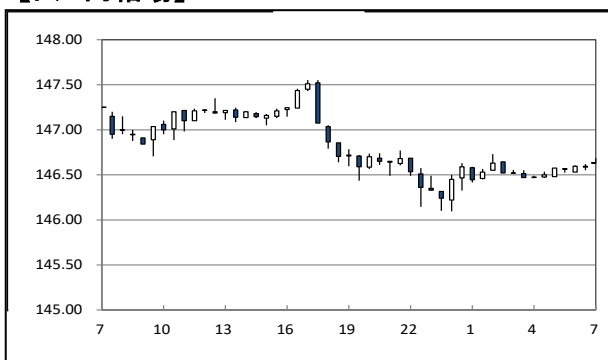
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月7日	12:02 中	貿易収支	10月 \$85.15b	\$95.97b
	12:02 中	輸出/輸入(前年比)	10月 -0.3%/-0.7%	4.5%/0%
	16:00 独	鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 0.6%	0.1%

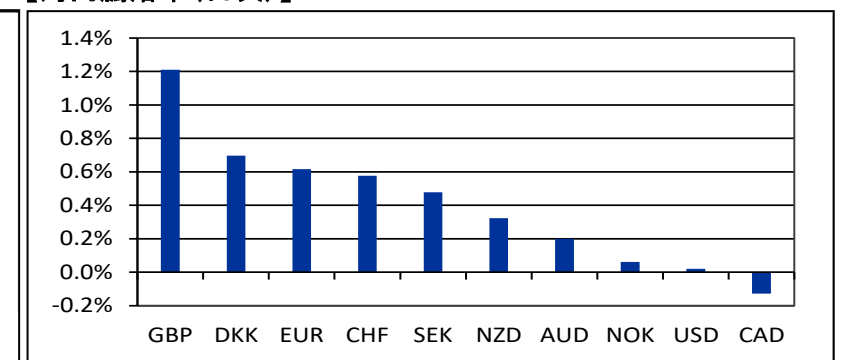
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月8日	08:50 日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	19:00 欧米	小売売上高(前月比)	9月 0.4%	-0.3%
		米国中間選挙	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	0.9900-1.0100	145.50-148.500

【マーケットインプレッション】

昨日の東京時間のドル円は146.89レベルでオープン。序盤は小幅に下落するも、5日に中国の衛星当局者がゼロコロナ政策の堅持を改めて公表したことが材料視されたためかドル買い優勢となり147円台前半まで上昇。終盤はレンジでの推移となり147.21レベルで海外時間へ渡った。海外時間では総じて軟調推移。リスクオンのドル売りが対ユーロやポンドで進むと146.10まで下落。その後は特段の材料もない中、146円台半ば付近での小動きとなり146.64レベルでクローズした。本日のドル円は146円台でのレンジ相場を予想する。米中間選挙が実施されるものの、本日中に開票結果は出ないと想定され、本日のドル円相場への影響は限定的となろう。明日以降に選挙結果が出そいサプライズな結果がでれば一時的に上下に振れる可能性もあるが、一番の注目材料は引き続き10日(木)発表の米10月CPI。その為、本日はイベント待ちの相場となりレンジでの推移を基本線としたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・松永